

子ども真ん中の学校

～かがやく海が見える丘よい～

令和6年5月29日
長崎市立畝刈小学校
学校だよりNO.15
校長 田中 成年

<子ども真ん中教育>

～民生委員さん訪問 畝刈小学校の魅力発信～

少し前の話になりますが、5月17日（金）畝刈地区の民生委員さん9名の学校訪問がありました。その中で、運動会の練習をしている子供たちの様子をご覧いただいたり、普段の子供たちの様子を聞いていただいたりしました。

本校が進めている「あぜかり教育」子供が主役の「子ども真ん中教育」について、畝刈小学校の魅力を発信する絶好の機会でしたので、子供たちの様子や先生方の頑張りをお伝えしたり、学校教育目標や経営方針について説明したりしました。

情報交換をする中で特に話題となったのは、子供たちの**交通安全**のことでした。「**車の量が増え、信号を見ない運転手もいる**ので子供たちが**危険**」であることなど、朝から見守りをしている中での気づきをお話ししてくださいました。「**子供たちがよく挨拶をしてくれる。**」「**横断歩道で車を止めたら、渡った後に一礼してくれる。**」など、地域での子供たちの「**りっぱな行い**」についてもお話をしてくださいました。

民生委員さんは、民生委員としてだけではなく、地域住民の一人として「子供は地域の宝」「地域の子供は地域で守る」というお気持ちで普段から温かく見守りをしてくださっています。学校もこのお気持ちに沿えるように「地域の中の学校」として同じ方向を向き、子供たちの「健やか」な成長のために力を尽くしてまいります。

<あぜかり教育>

- あいさつ返事日本一
- ぜんいん仲良し
- かんがえることを大切に
- りっぱな行いをしよう

今回は、あぜかり教育の3つのことについて、民生委員のみなさんから地域でみられる子供たちの様子についてお話をいただきました。このような姿が、様々なところで見られるよう、「あぜかり教育」を続けてまいります。